

第1号 運海寺だより

令和8年
西暦2026年
開基138年

新春のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

檀信徒の皆さまには、清々しい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素より当山護持発展のため、温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は当山にとりましても一つの節目となる年でございました。

副住職が結婚し、また長く勤めておりました本山での仕事を終えて、当山に戻ってまいりました。

新しい一員が加わり、私自身も、これからの当山の歩みを楽しみにしているところです。

世の中は依然として先行きの見えにくい状況が続いておりますが、そうした時代だからこそ、お寺がほっと一息つける場所であり、手を合わせることで心が幸せになれる、そんな場であれたらと願っております。

本年も副住職とともに、お念仏のみ教えを大切にしながら、皆さまに寄り添うお寺づくりに努めてまいります。

本年が皆さまにとりまして、穏やかで実り多き一年となりますことを心より念じ申し上げます、新年のご挨拶いたします。

合掌

令和八年正月 運海寺住職 杉浦善敬

ホームページ始動！

本年より、運海寺公式ホームページを開設いたしました。

本サイトは、昨年十一月ごろより準備を進めてまいりました。

近年、情報を得る手段としてウェブの役割はますます大きくなっております。こうした時代の流れを受け、本サイトを通じて、当山の行事や法要の予定のご案内、寺報のアーカイブの掲載、また浄土宗内外のさまざまな取り組みをご紹介します。

いくことを目的としております。

今後は、行事情報をはじめ、仏教に関する記事なども随時更新してまいります。寺報とあわせてご覧いただき、日頃の信仰やお寺のご縁をより身近に感じていただけたら幸いです。

Instagram始めました

昨年十月より、当山は初めての公式SNSとして、Instagramの運用を開始いたしました。すでに一部の方にはご案内申し上げ、お檀家さま・浄土宗内外全国各地の寺院さま・関心をお寄せいただいた方など、すでに七十二名（十二月末時点）の方にフォローをいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

Instagramは、写真や動画の投稿を中心としたSNSであり、当山の日々の様子や行事に関する風景などを発信して参ります。ま



Instagram
unkaiji1888



ホームページ
unkaiji.or.jp

始めたばかりのため、投稿の頻度は多くはありませんが、今後もう少しずつ情報をお届けしてまいります。

アカウントをお持ちの方は、ご覧いただき、ぜひフォローしていただけたら幸いです。皆さまの暖かいお声が励みとなります。何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返って

二〇二五年の当山を象徴する出来事といえば、副住職の結婚と就任という慶事が記憶に新しいところでございますが、住職が長年にわたり保護司を勤続された功績により法務大臣表彰を授けられ、あわせて浄土門主・伊藤唯真大僧正猊下よりご表彰を賜りましたことも、誠にありがたい出来事でございます。

また当山では、ホームページやインスタグラムなど、新たな取り組みが続いており、副住職が戻ってきてから「いろいろ始めたな」と感じられる方もいらっしゃるかもしれません。

寺報やホームページ、SNSは、あくまで発信するための手段の一つであり、それ自体は、まっさらな箱のようなものであります。

その箱にどのような色をつけ、何を入れ、誰に届けるのか——それこそが大切なことではないでしょうか。

そして、その箱の中身を形づくるのは、当山がこれまで培ってきた、仏様と教え、そして僧侶としての歩みそのものなのだと考えております。

開基以来、当山が今日まで法の灯を灯し続けてこられたのは、ひとえに檀信徒皆様お一人おひとりの存在があればこそでございます。

仏様と、仏様の教えと、そこに集う人々がつくる環を、今以上に広げられよう、考え、行動し、発信していくこと——それが、当山にできる務めであると感じております。

筆者である副住職は、本年三十歳を迎えますが、いまだ至らぬ身でございます。できることは限られています。逃げずに向き合う覚悟だけは持っております。

慢心することなく、一つひとつのご縁を大切にしながら、念仏教化に精進してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今後のお知らせ

1月14日(水)

総代責任役員会

1月31日(土)

明照婦人会新年会

会員以外の方もご参加頂けます。ご興味のある方は運海寺ホームページにてご確認ください。お気軽に当山寺務所までご連絡ください。

3月20日(金)

春季彼岸回向法要 併修 涅槃会

4月28日(火)

宗祖法然上人御忌会

詳細は、運海寺ホームページにてご確認ください。
日時は予告なく変更となる場合がございます。

編集後記

このたび、運海寺では初めての寺報を発行する運びとなりました。

「そもそも寺報とは何ぞや」とのお声もあろうかと存じますが、住職いわく、定期刊行物としての発行は、当山開基以来初めてのことだそうです。

このような当山初の試みに関わらせていただきましたこと、大変ありがたく、また光栄に感じております。

三日坊主にならぬよう、自分自身に言い聞かせながら、続けていきたいと思っております。本寺報は、季節の移ろいに合わせ、年四回ほどの発行を予定しております。最後までお読みいただきありがとうございます。本誌の改善のため、皆様のお声をお寄せください。